



### 要因1

周辺自治体の人口の減少と少子高齢化の進展

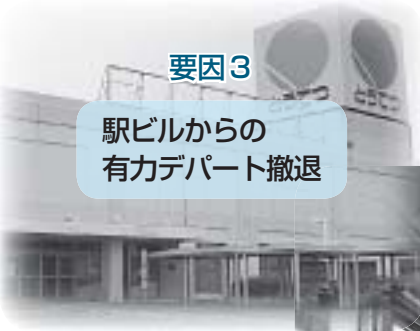


### 要因2

道路整備の進展と自家用交通の普及拡大

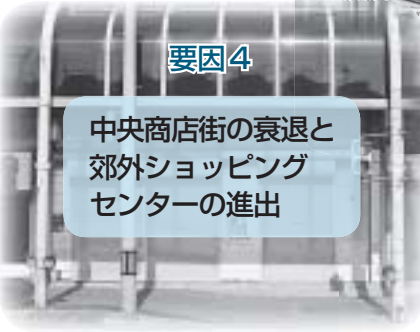


### 電車利用者の減少



### 要因3

駅ビルからの有力デパート撤退



### 要因4

中央商店街の衰退と郊外ショッピングセンターの進出

# 電車はなぜ衰退したか

電車の利用者が減ってきた背景にはどんな要因があるだろう。電車の衰退の背景には、4つの外部的要因と内部的要因が考えられます。それぞれについて考察してみました。

## (1) 4つの外部的要因と内部的要因

**要因1** 周辺自治体の人口の減少と少子高齢化の進展  
年齢階層別では、若年人口の減少と高齢人口の増加が顕著にみられます。  
とりわけ、直近の国勢調査では、十和田市の高齢化率（65歳以上人口の割合）は全国上位に並び22%に達しています。  
このように本市においては、急激に人口が増えるということが期待するのは難しいといえます。

**要因2** 道路整備の進展と自家用交通の普及拡大  
平成2年十和田市駅の沿線の道路を舗装したため、学校へ通学するために乗車していた生徒の利用減少も顕著でした。  
十和田市の自家用車の保有は世帯当たり2.1台になるなど、1家に2台以上保有する自動車の普及も拡大しています。

**要因3** 駅ビルからの有力デパート撤退

徐々に駅周辺に商業施設が集積してきてはいますが、主力となっていたデパートの撤退により、駅に来た乗客が買い物できなくなり、娯楽を楽しむことができなくなりました。高校生の利用率が高い本電鉄には、高校生が憩う場所がなくなってしまうことは致命的といえます。

**要因4** 中央商店街の空洞化と郊外ショッピングセンターの進出  
本市の中央商店街も空洞化が目立ってきていて、街全体の活気が失われつつあります。  
郊外に大型ショッピングセンターが進出したことにより、市民の目が駅ビルや中央商店街から離れてしまいました。このような状況下では、鉄道を利用するより、車で自由に目的地にアクセスする方が便利になってまいります。

**内部的要因**  
利用者の減少に伴い、乗客が利用しなくなるようなサービスや工夫をしなかった事業者側の努力不足も一因と考えられます。

グラフ1

十和田観光電鉄の輸送人員推移

